

DU PONT

The miracles of science™

理想の収穫を目指して、 確かな防除で最良のスタートを。

- コナジラミからチョウ目害虫やアザミウマまで幅広く防除。
- 速やかな摂食活動阻害による作物保護。
- 優れた吸収移行性と残効性の灌注処理。



デュポン™

野菜灌注用殺虫剤

ベズマーク®
powered by
CYAZYPYR® SC

ミニトマトに
適用拡大!



あらかじめ作物に有効成分が吸収されるため、しっかりと防除が行き届き、頑強で健全な初期生育が実現、安心の栽培スタートが切れます。

短時間で多くの苗を処理できるので効率的です。他の作業にあてる時間的余裕が生まれ、経営規模拡大の機会にもなります。

作業が天候に左右されにくく、スケジュール通りに仕事が運べ、安定経営に貢献します。

■適用害虫と使用方法 (が適用拡大部分)

2017年3月22日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数				
キャベツ	ハスモンヨトウ アザミウマ類 アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ ネキリムシ類 ウババチ	400倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内)				
はくさい	アブラムシ類 コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ カブラハバチ										
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 アザミウマ類										
レタス	オオタバコガ ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ アブラムシ類										
非結球レタス	ヒメフタテンヨコバイ										
トマト	アブラムシ類 コナジラミ類	800倍	1株当り25ml	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内)				
ミニトマト	ハモグリバエ類 アザミウマ類		1株当り50ml								
きゅうり	アブラムシ類 アザミウマ類	400倍	1株当り25ml					育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内)
ピーマン	コナジラミ類	800倍	1株当り50ml								
なす	コナジラミ類	400倍	1株当り25ml								
	アブラムシ類 アザミウマ類 ネキリムシ類 ハモグリバエ類	800倍	1株当り50ml								
メロン	アブラムシ類 アザミウマ類	400倍	1株当り25ml								
	コナジラミ類	800倍	1株当り50ml								
すいか	アザミウマ類 アブラムシ類	400倍	1株当り25ml								
	コナジラミ類	800倍	1株当り50ml								
ねぎ	シロイチモジヨトウ アザミウマ類 ハモグリバエ類	400倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	収穫7日前まで	1回	株元灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の処理は3回以内)				
		2000倍	0.5ℓ/m ²								
カリフラワー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ	400倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	1回				

△ 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせて薬液を調整し、使いきってください。
- 薬液調整後はできるだけ速やかに使用してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用は避けてください。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。処理器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。



デュポン™ベリマークSCについて、
ご紹介しております。
左記QRコードをスキャンしてご覧ください。

グループ	28	殺虫剤
------	----	-----

殺虫剤抵抗性管理 (IRM)

一般推奨事項: 薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、デュポン™ベリマークSCまたは他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。作付期間(播種から収穫まで)を通して適応されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

- 害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
- (1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト (<http://www.irac-online.org>)
 - (2) デュポン株式会社ウェブサイト「デュポン 抵抗性」で検索

水で希釈すると残渣が認められることがありますが、品質には影響ありません。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記帳しましょう。